



特集

脱炭素で笠間焼を未来へ





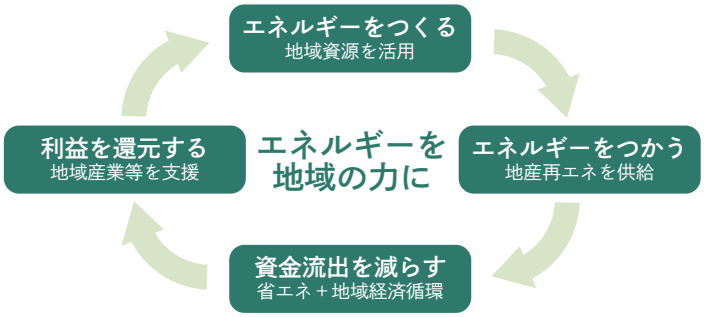
「脱炭素先行地域」で目指す地域の好循環とは

笠間市は、豊かな自然や文化を次の世代へつなぐため、脱炭素のまちづくりを推進しています。

今回の特集では、令和８年２月に環境省の**「脱炭素先行地域」**に選定された本市の取り組みについてご紹介します。

地域でつくり、地域で使うエネルギーへ

太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーを、地域でつくり、地域で使う経済循環の仕組みを作り、暮らしと伝統的工芸品「笠間焼」産業の持続可能性の向上を目指します。



脱炭素先行地域とは

2030（令和 12）年度までに民生部門（家庭部門および業務その他部門）の電力消費に伴う CO_2 排出の実質ゼロを先行的に実現する地域として、国が全国で 102 か所を選定し、モデル事業として推進が図られているものです。

脱炭素先行地域

対象エリア

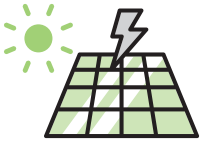
本市の脱炭素先行地域の対象エリアは、ギャラリーロードに隣接する 15-1 区・18 区・19 区・20 区・22 区・笠間芸術の森公園＋エネルギー施設です。



本市の脱炭素先行地域計画では

5つの取り組みで、地域の未来を育む

1 太陽光発電設備の導入拡大



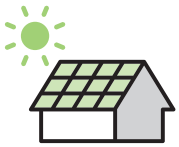
駐車場や公共施設屋根などの空間資源を有効活用した太陽光発電設備を整備

2 地域支援エネルギー会社の設立



再エネ供給と地域産業支援を担う会社を設立し、脱炭素と地域課題解決に貢献

3 再エネ・省エネ設備の補助



エリア内の住宅・事業所向けに太陽光・蓄電池・省エネ設備などへの補助を実施

4 笠間焼産業の強靱化

笠間焼の担い手育成や空家の工房へのリフォームなどを支援

5 栗剪定枝の活用

栗の剪定枝を公共施設の燃料や笠間焼の釉薬原料として活用

地域資源をいかした、やさしい循環のしくみ



栗剪定枝など

処分が課題になっている枝を燃料に



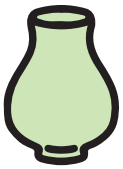
バイオマスボイラー

給食センターで熱利用



栗灰※

焼却で出る灰を釉薬の原料に

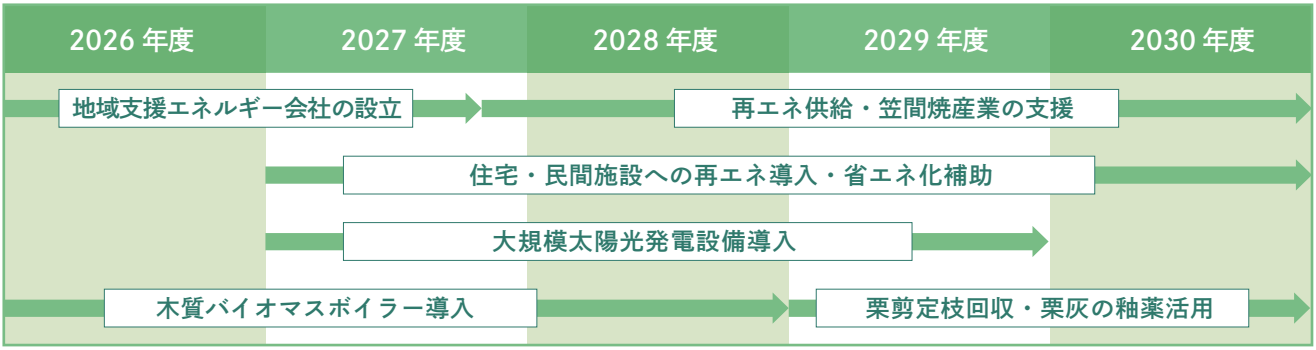


笠間焼

笠間ならではの作風が可能に

※栗灰は、釉薬素材として笠間焼協同組合と茨城県立笠間陶芸大学校で共同開発されています。

今後の流れ



この取り組みにより、全国のモデルとなり、市内へも波及させていくことで、本市の2050年カーボンニュートラルの早期実現を目指します。

計画の実現には地域の皆さんの力が必要です。ご理解とご協力をお願いします。

問 環境政策課(内線 125)

ゼロ・カーボン kasama

詳細はこちら（笠間市HP）